

水産

未来に駆ける

多方面から支援して
宮城の水産業を盛り上げる

補助金に関する業務や、EU向けに輸出を行う冷凍漁船の認定などに関する業務などを行っています。特に補助金業務は、震災で被災した水産加工企業の復旧・復興の支援につながり、非常にやりがいを感じます。申請書類の内容を読み解き、審査を行うなど、自分一人では判断に迷う場面もありますが、その際は上司や先輩に相談しながら業務を進めています。日々の学びを、どのような業務にも応用できるように、その時々経験・出会いを大切にしていきたいと考えています。自分自身が生まれ育った宮城県に、大好きな水産業の分野で貢献できることを非常に嬉しく思います。

水産林政部 水産業振興課 流通加工班
ちばゆうな
千葉 結友菜 / 平成29年度採用

主な経歴
平成29年度～ 水産技術総合センター 水産加工開発部
(現:水産加工開発チーム)
令和2年度～ 現職

職種概要
水産業の振興、安全安心な水産物の流通、担い手の育成などに関する業務のほか、漁場環境の調査や生産から加工・流通までの技術開発などの試験研究も行います。

主な勤務課所
本庁各課／水産業振興課、水産業基盤整備課、食産業振興課など
地方機関／地方振興事務所、水産技術総合センターなど

私の全力疾走ポイント
入庁時から携わってきた水産加工分野に加え、今後は漁業調整や販路開拓など幅広く水産業を学びながら、丁寧に業務に取り組んでいきたいです。

未来に駆ける先輩職員インタビュー

Question 1
宮城県の水産職を選んだ理由は何ですか？
父が養殖業を行っており、将来は私も水産に関わる仕事に就きたいと考えていました。また、県職員は漁業や加工、流通など多方面から水産業に関わることができる点も大きな理由でした。

Question 2
仕事で印象に残るエピソードは？
補助金業務で担当した企業の商品が品評会で受賞したり、新商品発売の情報を新聞で見かけた際は事業が順調に推移しているのだと、自分のことのように嬉しくなりました。

Question 3
宮城県職員を目指そうとしている方にメッセージをお願いします
水産職では幅広い業務を経験できます。専門的知識は必要ですが、県の水産業を支える誇りとやりがいを感じられる仕事です。皆さんとともに働ける日を心待ちにしています！



ある1日のスケジュール

- 9:00 登庁 / メールチェック・申請書類審査
- 11:00 出張
補助金の履行調査に関する現地確認などを行います。
- 12:00 昼休み
- 16:00 帰庁 / 調査結果まとめ
調査した内容を書類にまとめます。
- 17:45 退庁



(令和3年12月現在)

